

夜明けまで

認知症とともに

社会福祉法人梅の樹会(橋本幸雄理事長)が運営する特別養護老人ホーム「フラワープラム」(瑞穂町長岡長谷部)では、毎月第4木曜に認知症カフェ「楽笑(らくしょう)プラムカフェ」を開いている。町内で唯一の認知症対応型デイサービスを行う同施設が、認知症の当事者や家族、地域の人が気軽に集い、介護・医療の専門職と話す場を提供。町内外から利用者が集まっている。

(澤村みどり)

「今できることを大切に」自立支援介護を



認知症対応型デイサービス施設の認知症カフェ

瑞穂 フLOWERプラム 「楽笑(らくしょう)プラムカフェ」

認知症カフェは、同施設が地元住民に無料開放している地域交流サロンKIZUNAで開かれている。ランチとドリンク付きで、前回9月28日のメニューは鶏鍋。入り口のドアを開けると、管理栄養士の加賀美祐二さん(38)が丹精込めて作る料理のいい匂いが広がる。ランチができるまで、家族が介護の悩みや経験を語り合い、町職員や専門家のアドバイスを受け

乗佳保林理事と一緒にピアノに向かう利用者



る。そして、認知症対応型デイサービスの利用者が、日ごろの活動の成果を発表する。同施設では「今できることを大切に、役割のある生活を」と、自立支援介護を目標とする。認知症の男性が朗々と詩吟を披露し、写真、編み物の得意な女性利用者が手製の作品を配る。お昼になると、皆で口唇体操をして歌を歌ってから、温かな料理を囲んでランチタイムが始まる。「愚痴を聞いてくれる人がいると、こう気が抜けるんだわ」、「同じ



男性介護者同士で語り合う

立場の人だと、話して気が楽」と、介護する家族にも笑みが広がる。認知症の80代女性は、「歌がとっても好きなんですよ」と言っていて、テーブルの近くにあるピアノの前でにっこりする。「楽笑プラムカフェ」は毎月第4木曜午前11時〜午後1時に開催。町外の人でも利用できる。次回は10月24日(木)。参加費500円(ランチ、ドリンク付き)。問い合わせはフラワープラム(042・5556・5755)へ。